

長坂

希望の朝の陽が昇る

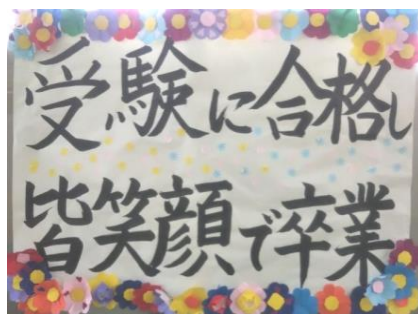
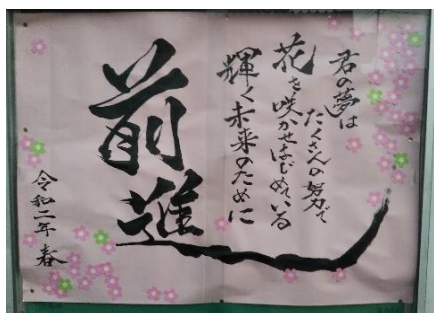
平戸市立生月中学校
学校だより 第21号
(令和3年3月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信箋】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

ご卒業 おめでとうございます！ ～3月16日（火） 第16回 卒業証書授与式～

今年度は、新型コロナウイルス感染症という、まさに「予測困難な事態」にみまわれ、教育活動にも様々な制約を受けた1年でした。しかし、卒業生の皆さんは、新しい生活様式に取り組むことで感染防止に取り組み、コロナ禍の中でも目標を見失うことなく学校生活を送ってくれました。また、日々の学校生活や生徒会活動、学校行事、部活動などで、最高学年として下級生を導き、生月中学校の新たな伝統を築いてくれました。

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。皆さんの前途に、幸多きことを心から祈念しています！



栄養のバランスを考えて・・・ ～第3学年「バイキング給食」が実施されました～

去る3月11日（木）に、3年生を対象にバイキング給食が行われました。この取組は、「栄養のバランスを考え、自ら食を選択する力を育てること」や「みんなで料理を分け合うことで、思いやり、社交性、マナーを身につける」、「中学校生活の心に残る楽しい思い出の一つにする」ことなどを目的に、毎年、実施されています。生徒は、20 数種類の料理の中から、栄養のバランスや好み、摂取カロリーなどを考えながら、食べたい料理を選んでいました。

新型コロナ対策を実施した上での会食は、制約もありましたが、生徒は楽しいひと時を過ごしていたようでした。また、美味しい料理をたくさん作ってくれた給食センターの皆さんにも感謝していました。



『安全安心な暮らし』標語 ～生月町青少年健全育成町民会議の標語コンクール～

生月町青少年健全育成町民会議の活動の一つとして、児童・生徒の安全安心な生活をおくることへの意識の向上を図るため、「安全安心な暮らし」標語コンクールが行われました。本校でもこの取組に賛同し、全校生徒が自作の標語を応募しました。先日、金賞1名、銀賞2名、銅賞3名の入賞作品が発表されました。入賞、おめでとうございます。

なお、金賞・銀賞の標語は、パネルにさせていただきましたので、校内に掲示しています。

【入賞作品と入賞者】※敬称省略

金賞「大丈夫 一言だけでも 安心ばい」	2年	吉田	菜海
銀賞「おはようと 毎朝交わす 生月町」	3年	川上	真悠
銀賞「近所での 小さな気付きが 役に立つ」	1年	田中	那奈瀬
銅賞「あってるの？ みつめ直して その行動」	3年	久富	穂
銅賞「あ、ゴミだ 捨てる心と 気付ける余裕を」	2年	神田	紗希
銅賞「助け合い 共に声かけ 安心を」	1年	石橋	和樹

